



東洋館蔵 近藤紫雲 画 豆子小坪所見

— [震後津浪襲来 豆子小坪所見] 版画 近藤紫雲—
津波体験者による再現画 所蔵 進藤國昭氏



— 神奈川県豆子市小坪の今—

企画展



関東大震災

～100年前のあの日... 経験者は語る～

2023年 9月1日[金]～12月3日[日]

会場：名古屋市港防災センター

資料提供：ジオ神奈川 蟹江康光、蟹江由紀 協力：名古屋市科学館



— 横浜の写真—

ガレキの山と化した横浜山下町の海岸通り、現在は埋め立てられ、山下公園となった。



— 関東大震災後の鎌倉大仏（えはがき）—



— 高嶋フジさんの証言絵本—

関東大震災発災から今年で100年

そのメカニズムを科学的に解説し、被害の大きかった神奈川県の写真を展示。

112歳の体験者の語りや絵本、大正時代の版画で、当時何が起こったかを振りかえります。

記憶を伝える

体験者の語りで伝える

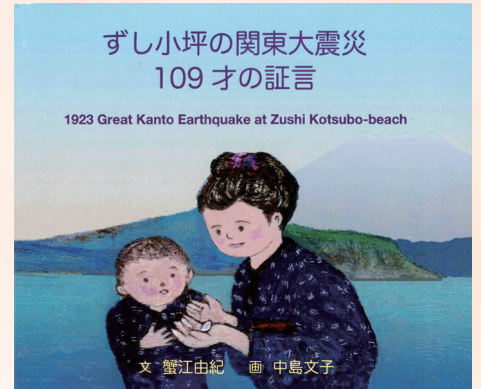
▶112歳(2023年現在)の高嶋フジさん

1911年(明治44年)8月15日生まれ。
当時12歳のときに、神奈川県逗子町小坪地区で関東大震災を経験。腸チフスにより母親を亡くし、7人兄弟の長女として小学校に通いながら幼い兄弟の面倒を見る。津波から生き延びた12歳のフジさんと2歳の弟末吉さんは、3日3晩飲まず食わずで過ごした。12歳で「子育て」「大家族の衣食」「近所づきあい」を成し遂げたフジさんから学ぶことは大きい。

109歳のフジさんが関東大震災の被災体験について語る映像を館内で上映中です。



高嶋フジさん 現在112歳 横浜市在住



フジさんの体験談絵本 ▶館内展示中

調査研究、活動で伝える

▶当時を伝える ジオ神奈川

関東大震災について研究。神奈川各地に残された「被害写真・体験手記・復興までの経緯」を学び、これらの減災生活を考える。感染症、関東大震災、戦争という災害の証言を知る。小坪地区では、1854年の安政東海地震津波による体験が活かされた。災害大国の日本では、当時(大正時代)、近所づきあいや助け合いによって災害に対処できていたことを知った。

蟹江康光さん

昭和16年名古屋市生まれ。
元横須賀市自然人文博物館地球科学部門の学芸員。理学博士。「ジオ神奈川」代表。
日本地質学会、鉄道友の会会員。
あーすコンサル代表。
私立東海高等学校3年生のときに伊勢湾台風を経験。



蟹江由紀さん

昭和24年横須賀市生まれ、逗子育ち。「ジオ神奈川」事務局長。神奈川県関東大震災の教訓を伝える活動をしている。
元神奈川県公立中学校教諭、もったいない学会、歴史地震研究会、文化地質研究会、鉄道友の会会員、ずしゼロ・ウェイトの会会員。



● 9月23日(土・祝) 名古屋市港防災センター トークイベント ●

① 13:30 ~ 14:00 (場所) 1F 企画展示室

『空から見る神奈川の震災』 講師：蟹江由紀さん

② 14:30 ~ 15:30 (場所) 2F 伊勢湾台風展示室

伊勢湾台風写真展 同時開催中

『三河地震と伊勢湾台風高潮から生還そして救援』 講師：蟹江康光さん

< 昭和20年三河地震、昭和34年伊勢湾台風経験者による語り >